

# 新九郎通信



発行 小田原市栄町 2-13-3 (株) 伊勢治書店 3F ギャラリー新九郎 木下泰徳  
メール配信サービスご希望の方は右記アドレスへお申込みを e-mail:kinoshita@iseji.net

ブラジルの大地を揺らすパフォーマンスに血沸き肉躍る 1 か月だった。青田をはった早朝の風が、熱くなった体に心地よい。それにしても決勝トーナメントの壁は厚く高かった。頂点を目指した SAMURAI BLUE の挑戦に拍手を送り、4年に一度の熱い戦いの夏を楽しもう。梅雨が明けると楽しい夏はすぐそこだ。



## 新九郎 7月の展覧会のご案内

## 近隣・友の会会員の展覧会情報

会期 展覧会名	見どころ
 7/2 (水) ~7 (月) 第6回らくらく展	花・風景・人物その他、油彩・水彩・写真等技法もジャンルも様々。出品者 15人
 7/9 (水) ~14 (月) 二人展 高橋雅和×二宮宗子	二人の作品は、時としてどちらの作品か見分けがつかないものもある。詩情豊かな二人のコラボレーションをお楽しみに!
 7/17 (木) ~21 (月) 第12回 街展	「街なみ再発見!展」改め、第12回となる「街展」銀座通り5つの画廊で同時開催
 7/18(金) 新九郎デッサン会	どなたでもお気軽にどうぞ! 18:15-20:45 会費 1500円 コスチューム、固定ポーズ
夏休みこどもフェスティバル お問い合わせ・お申し込みは伊勢治書店 0465-22-1366	7/25 (金) うみの 100 かいだてのいえ 3~小低
	7/29 (火) テンちゃんへんしんセット 3~小低
	7/30 (水) ノージーのひらめき工房で遊ぼう! 4~5才
	7/31 (木) くものめいろ・かみ工作で遊ぼう! 2~6
	8/1 (金) ペーパークラフト教室 6~12才
	8/2 (土) 空き箱を使ってスタントカーを作ろう 3~8
	8/3 (日) 親子で作ろう! よくとぶ紙ひこうき 小低~
8/4 (月) たいそう&ジャンケン大会 幼児~	
8/4 (月) うんこダスマンとあそぼう! 幼児~	
8/4 (月) こむぎねんどであそぼう! 3才~	

会期・展覧会名	会場
7/17 (木) ~21 (月) 第12回 街展	飛鳥画郎 0465-24-3790
7/10 (木) ~14 (月) 第3回こみね展	アオキ画郎 1・2F 0465-22-0825
7/17 (木) ~21 (月) 第12回 街展	アオキ画郎 1F 0465-22-0825
7/31 (木) ~8/3 (日) 童話の世界が森の中からやってくる。	アオキ画郎 2F 0465-23-5624
7/17 (木) ~21 (月) 第12回 街展	ツノダ画廊 0465-22-4250
7/17 (木) ~21 (月) 第12回 街展	ギャラリーコットン 倶楽部 0465-
7/8 (火) ~20 (日) 大木みどり展	すどう美術館 0465-36-0740
7/22 (火) ~8/3 (日) 山口敏郎展	すどう美術館 0465-36-0740
7/16 (水) ~22 (火) 齋藤史門展 「アトリエからのメッセージ」	第1会場丹沢美術館 0463-83-9550
7/16 (水) ~22 (火) 齋藤史門展 「アトリエからのメッセージ」	第2会場ギャラリーゼン 0463-83-4031
7/1 (水) ~31 (日) 水第2木休 ナカエカナコ展	NARAYA CAFÉ GALLERY 0460-82-1259

## 東海道五十三次 11 岡部宿 (宇津ノ谷) 5年をかけ、足で歩いたスケッチ紀行 松野光純



岡部宿は、丸子から宇津ノ谷峠を越えたらたどり着く山間の小さな宿である。岡部宿まで行く途中にある宇津ノ谷の茶屋だった石川家には、天正18年(1590)に秀吉から賜った紙子の羽織と、後にその羽織を見た家康からのこの宇津ノ谷には、急な坂道に階段状に古い家が建ち、往時を偲ばせているので、高台から見下ろす家並みをスケッチすることにした。

岡部宿は、大規模な大名行列があった場合には、夜具などを隣の宿から借りなくてはならないこともあったという。現在の岡部町は、宇治、八女と並ぶ玉露の名産地である。

## 思うことなど 横井山 泰



5月の三島での個展を小田原の多くの皆様にご覧いただき、ありがとうございます!

久しぶりに実家(大仁)に長いこと滞在しました。田方平野から眺めると四方は山脈で北の隙間から、穴の開いた富士山がそびえ、天気の良い日には、遠く日本アルプスもうかがえます。山々の稜線は、時に女性の寝姿のようで、自分の描く線は、それに似ているように感じます。ここで育って良かったなと実感しました。栢山から報徳橋を越えた辺りの景色は伊豆よりもワイルドですが故郷の景色と似ています。

さて、6月。制作中は落語を聞いているのだが、かもめ図書館のCDの東「朗読」から江守徹朗読「山月記」(中島敦)を借りた。高校の教科書で勉強した「臆病な自尊心と尊大な羞恥心」を実感する。怖い話である。自分の都合で避けて通ると、好奇心は鈍くなる。些細な問題は雪だるま式に大きく育ってしまい、そこしか観えなくなる。怖い。一緒に借りた市原悦子朗読「家紋」(松本清張)も怖い。室温が3℃くらい下がる。最後に著者のコメントがあり「短編のポイントは効果を1つに絞る」と語っていた。

今年の夏は8月は新九郎、9月はナラヤカフェで個展です。

展覧会に寄せてのコメント（詩）。 高橋 雅和  
よるのこども  
ひかりのこどもから

かれはた土に きれいな涙  
星はまたたき 風車の眠り  
ピエロが たたずむ ほとりは  
深緑に 沈むのです



またね 母にあやされる子の髪は静かに揺れて  
みずうみの水面に錫箔のような眩しい光と同調し

三拍子 で 消えました



ああ わたしは  
昼と夜の青さや  
透明な気球船に  
あこがれて

静かな夜の冬の空

やどかりは  
おおきな おおきな 影を残して  
浜辺の焚き火を横切りました

オリジナルの技法でパステル画を描く。 二宮 宗子



そのオリジナル技法で描いたパステル画のもつ温かさと優しい雰囲気を活かし、地元二宮町での日々感じたことや思いをテーマに、懐かしさやぬくもりを見る人に感じてもらえ

るよう、作品を制作している。

今回は様々な「青」をメインの色に使い、今までのテーマはそのままに「解・放・融」をコンセプトとした作品を出展する。見る人にとって、解とは、放とは、融とは…。そんなことを考えてもらえたら嬉しい。



## 絵てがみ折々 ー小田原の暮らしの中でー

野地 三恵



庭の紫陽花がこんもり繁り、どくだみも白い花を咲かせ、緑のカーテンのゴーヤがどンドン蔓を伸ばしている。こんなじめじめした日は、何もする気にならない。

北海道から毛ガニが届いたので、葛の筆を取り出して描いてみた。葛の根の先を叩いて乾燥させて作ったもので、ばさばさとした線を描くのに合っている。思い切って筆を動かして蟹を描き、文字もその筆を使った。

「梅雨明け間近」と書き入れたとき、急に気持ちが晴れ晴れとして、長い梅雨が本当に明けるような気になった。言葉の持つ力はすごい、と改めて実感したのだった。

## 6月のこと

二か月に亘る石田徹也展の図録販売がようやく終了し、久々に展覧会を見に妻と出かけた。新国立美術館の「たぶろう展」には、新九郎通信で小田原街なみスケッチを連載された岡田昌康さんと、石猫ワークショップ講師の広川英夫さんが出品している。岡田さんは片方の視力がほとんどない状態だが、100号2枚を1年かけて風景画を描いた。広川さんは中国の農村風景と、その村の娘を描いた人物画の2点。民族衣装を纏った娘は華やかで愛らしく魅力的だ。会場でお二人にもお会いできよかった。

新宿ピカデリーで、この秋小田原映画祭のクロージング上映作品となる「瀬戸内海賊物語」を見る。主演の少女がなかなかいい。「バルテュス展」に向かう。バルテュスは何年前にも見ているがやはりすごい。その貴族的で神秘的な作品は平凡な市民には想像もできない次元の違う美意識の世界である。描かれる少女の中には村上春樹の小説に出てくる、リトルピープルと共通するイメージを感じて興味を惹かれる。森アーツセンターギャラリー「こども展」はルノワール、ルソー、ピカソ等他こどもを描いた絵の展覧会だ。アンドレ・ドランの「画家の姪」という絵にシビれた。13才くらいだろうか。広い室内にベージュ色のワンピースを着た姪が、帽子を片手に片膝を椅子にかけ、すくっと立っている。左から差す光。ワンピースの襞の影、白いストッキングと黒のシューズ、くりっとした愛くるしい瞳、伸び盛りの少女の姿は永遠に画面に定着される。一枚の良い絵に出会えることはこの上ない喜びである。

忙しく駆け回ったが、帰り道は梅ヶ丘の寿司屋で食事。観た絵のことなど肴に過ごす楽しい時間だ。☺

第12回 「街展」

自然と歴史に育まれた街「小田原」私達の暮らし・営みが偲ばれる、懐かしい・楽しい・新しい小田原を再発見！

平成26年7月17日(木)～21日(月) 10時～18時(最終日16時終了)

銀座通り5つの画廊で同時開催

会場 ●アオキ画郎 ●ツノダ画廊 ●飛鳥画廊 ●ギャラリー新九郎 ●ギャラリーコットン倶楽部

主催：小田原銀座商店会 後援：小田原市

# 街展

第12回

自然と歴史に育まれた街「小田原」私達の暮らし・営みが偲ばれる、懐かしい・楽しい・新しい小田原を再発見！

平成26年7月17日(木)～21日(月) 10時～18時(最終日16時終了)

銀座通り5つの画廊で同時開催

会場 ●アオキ画郎 ●ツノダ画廊 ●飛鳥画廊 ●ギャラリー新九郎 ●ギャラリーコットン倶楽部

主催：小田原銀座商店会 後援：小田原市

## 鬼太鼓座 [45周年記念公演・畦道回帰]



■平成26年7月15日  
■開場：18:30 開演：19:00  
■会場：紀尾井ホール  
東京都千代田区紀尾井町6-5  
最寄り駅：四ツ谷(JR・メトロ)  
■入場料：¥5,000(当日券)

¥4,500(前売り券) ■チケット：伊勢治書店本店・ダイナシティ店で発売中！

■お問合せ：090-9324-4084 木下

◆出演：鬼太鼓座(和太鼓・尺八他)  
花柳琢次郎(日本舞踊ゲスト出演)